

# ひまわり会NEWS

Vol.22

大阪千代田短期大学 〒586-8511 大阪府河内長野市小山田町 1685 TEL 0721-52-4141 http://www.chiyoda.ac.jp/

## ご挨拶

大阪千代田短期大学 学長  
石井 雅彦



卒業生（ひまわり会）の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。本年4月に学長に就任し、新しい大阪千代田短期大学をめざして取り組みを進めています。

短期大学では、2年間の履修で卒業を迎えることが一般的でしたが、来年度から、これまでの2年コースと併せて3年コースを開設することにしました。基本的に同じ学費で、同じ内容を3年間で学びます。空きの時間や休みの日ができるので、子ども園、保育所や幼稚園でのアルバイトを斡旋し、実践的に学んでほしいと考えています。6月には、河内長野市24園に学生を派遣するシステムを構築しました。さらに、本校卒業生が在籍している保育施設や、実習等でこれまでも連携を深めてきた他市の施設にも学生を派遣し、実践力のある保育者育成に努めていきたいと考えています。

本学は豊かな自然の中にあります。本年7月2日（日）に冒険遊び場「ちよたんパーク」を開設します。冒険遊び場は、子ども自身が自然の素材（水や火、土や木など）や廃材などを使い、自ら遊びを作りかえ、豊かに成長していく場です。全国各地に設置されていますが、大学構内に常設の冒険遊び場を設置する試みは、全国初となります。秋からは、市内24園に開放していきます。

また、本学では昨年から大阪市のコリアタウンにおけるフィールドワークを開始し、今年度は「韓国語」の授業を開始しました。次年度からは「韓国研修旅行」を始めます。韓国の保育施設では、日本より一歩先に園児の多国籍化が進んでいます。来たる多文化共生社会における保育を考える視点から、韓国の保育園視察を組み入れる予定です。

さて、本学が抱えている最も大きな課題は、学生募集です。高校の卒業生が年々減少している上に、全国的に「短大離れ」「教育・保育離れ」がすすみ、入学定員の確保が難しい状況です。皆様のまわりに、保育者を志す高校生がおりましたら、是非とも本学への進学をすすめていただきますよう、よろしくお祈いします。



ひまわり会 会長  
松原 栄子

（幼教16期生 旧姓：西川）



会員の皆さま、大阪千代田短期大学同窓会ひまわり会の活動にご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

大阪千代田短期大学は、少子化による学生数の減少と大学の4年制志向などにより、短大への入学希望者を増やすことが厳しい状況にあります。

同窓会といたしましても、短大が開催する「OPEN CAMPUS」に合わせて同地域田辺で「ふるさと同窓会」を開催するなど、努力・協力しています。

同窓会として新たな試みでしたが、有田・田辺から、家族ぐるみをはじめとした幅広い世代の参加もあり、楽しく交流することができました。

今後、京都・鳥取・島根・石川などでも「ふるさと同窓会」を開催する予定です。

また、期生・地域・学科の同窓会の企画には、ひまわり会からの補助も活用していただけるようになっておりますのでご連絡ください。

2025年大阪千代田短期大学は、創立60周年を迎えます。新たな峰を築き歩むにあたり、同窓生の皆さまのお力が必要です。お知り合いに千代田短期大学の魅力を伝え、入学をお勧めしていただけるようお願いいたします。

まだまだ暑い日が続きますので、体調を崩されませんようご自愛ください。



学校法人千代田学園 理事長  
高橋 保



如何お過ごしでしょうか。さしものコロナ禍もようやく季節性インフルエンザと同等の第五類に分類されるに至り、少しずつ日常を取り戻しつつあるのではないかと拝察いたします。それにしても大変でしたね。私たちはもしかすると、とんでもない勘違いをしていたのかも知れません。人間は万物の霊長だと思いがたり、自然を手懐けたり、抑え込んだりし得るものだと知らず知らずのうちに思い込み、「生かされている」ことに鈍感になってしまっていたところに、手痛いしっぺ返しを食ったのでは私は受け止めています。改めて、謙虚な気持ちを忘れず、しっかりと為すべきことに全力を傾注しなければと心しています。

さて、ここで大変つらいご報告を致さずにはなりません。学校法人千代田学園は1950年昭和25年に設置されて以来、73年の全期間に亘り、文字通りひたすら学生、生徒、園児の成長を願い、主体的に生きて行ける力を育むとともに、すべての人が自分らしく生きられる社会の実現を希求して学園運営に努めて来ましたが、少子化を背景に大阪府立高等学校の統廃合が急速に進められ、学園を取り巻く状況が大きく変容し、経営環境が一気に厳しくなっ

たのです。これまで短期大学に多くの生徒を受け入れて来た大阪府立高校が軒並み統合の対象とされ、姿を消しました。更に文部科学省は増え続ける私立大学の定員充足に高いハードルを設け、基準を満たさなければ補助金をカットし、短期大学には経営指導を強化し、課題が解決出来なければ自ら幕を下ろさせようとしているのではとさえ思われる迫り方をしています。

しかし一方で、政府は我が国の喫緊の課題である少子化について、異次元の対策に取り組むと言っています。将来を見据えたとき、安心して生み育てられる環境の充実には待ったなしなのです。だとしたら、思案を重ねた末、私たちは乾坤一擲正面突破をメインに据えて自力再生を第一義的に取り組むこととしました。険しい山坂は覚悟しつつ、全力を尽くすこと。そしてそれでもどうしても力及ばずの場合をも視座に収め、どんな困難が待っているようにも学園が握って離さず大切に守ってきた精神。一人ひとりを大切にとの決意を貫き通すためにあらゆる可能性を排除せず、頑張りぬく決意です。

同窓生の皆様。母校の状況をご賢察頂き、是非お力添えをお願い申し上げます。大阪千代田短期大学、大阪暁光高等学校、認定こども園大阪千代田短期大学附属幼稚園への入学、入園希望者をご紹介下さい。オール千代田の底力を今こそ示そうではありませんか。皆様方のご健勝を祈念致しますとともに伏してお願いを申し上げます。

## 通信はがきより掲載（ミニ通信）



**幼教29期生 Y・N**  
卒業したてで右も左もわからない私を育てて頂いた私立保育所を15年でやめ、京都で仲居をしていましたが、ゆっくりに働ける今の職場に移りました。若い先生のお手伝いもして学んでいます。

**幼教16期生 S・E**  
40年勤務した保育現場を早期退職し、第二の人生に舵をきりました。ひまわり会ニュースは短大時代に買った気持ちにさせてくれます。

**幼教 4期生 I・S**  
短大を卒業し35年間小学校教諭として勤めさせていただき、現在73歳で今は99歳の母の介護をして暮らしています。

**幼教 8期生 W・T**  
9月で69歳になりました。昨年からデイサービスを利用して、毎日楽しく過ごしています。

**幼教21期生 T・Y**  
病児保育室で病気の子の看護と保育をしています。働く保護者さんや家族のために頑張っています。

**幼教42期生 U・M**  
一児の母となり、育児からの学びが、また子ども達との関わり方のヒントになり、毎日過ごしています。母として、そして保護者として子ども達の大切な一日一日を共に出来ることを嬉しく思います。まだまだ学び!! 発見!! 共に成長!! 頑張ります!!

**幼教 7期生 M・S**  
今年70歳「元気があれば何でも出来る」と楽しんでます。園には後輩がたくさんいますよ。

**幼教35期生 A・M**  
18年前に結婚して苗字・住所が変わっていたのに届け出なくてすみませんでした。保育園で保育士として頑張っています。

**幼教 3期生 S・I**  
2023年には後期高齢者となります。小学校に35年勤務しました。そして京都に根付いてしまいました。今は花を植えたり家庭菜園をしたりして楽しんでいます。

**幼教11期生 S・J**  
京都市で62歳まで、その後甲賀市で支援員を3年、現在は支援学級で担任（講師）をしています。

**幼教28期生 A・K**  
千代短卒業後は、公立保育所で正職として18年間働き、長女が小学校に上がるタイミングでパート勤務に切り替えました。週6勤務で大変ですが楽しく働いています。

**幼教30期生 A・H**  
職場にちよたんから実習生が来ました。学生さんの送迎バスも毎朝見かけます。懐かしいです。

## 小山田祭

日時 10月21日(土) 受付9:00~

今年は、**学園関係者と同窓会の皆さまに限り**ご来場いただけます。参加される方は同窓会テントで受け付けをしてください。

参加された方には、ひまわり会の粗品を進呈いたします。  
※詳しくはホームページにてご確認ください

**第6回 保育\*教育\*医療 フォーラム 再開**

子どもや青年は、自分を受けとめてくれる人を求めている

＜講演＞土佐 いく子氏  
9月17日(日) AM10:00~12:00  
大阪暁光高校(6階・講義室)

1948年、徳島県に生まれる。広島大学卒業。(元)大阪府立小学校教諭、和歌山大学講師、大阪大学講師。(現)なごい・日本作文の会会長、福徳教育学会などに所属。

受付は9:30~ 入場無料 無料にお申し込みください

♪ 生きる喜びを歌い上げる ♪  
新曲集 **ゴスペル クワイア**  
**Make Us One**  
「歌いつつ歩まん」は+

子どもたち★集まれ!  
(4歳~小学校中学年)  
3歳児は保護者あります

科学あそび 第6弾  
**わりばし鉄砲**  
あそぼう☆

主催：保育・教育・医療フォーラム実行委員会 共催：学校法人千代田学園  
本会は、千代田学園に関わる有志が「地域のみなさんとともに、保育や教育、医療について学びあい、未来に向けて考えていこう」と作りしました。  
(講師) 土佐 いく子氏(大阪府立大学) 0721-53-0283  
会場(大阪府)千代田短期大学 0721-52-0011 発行：2023年7月

## 同窓会事務局より

※住所・姓名変更された方は、同封のハガキにて同窓会までお知らせください。問い合わせがふえています。お友達の変更も教えてください。ハガキには必ずご記名ください。  
 ※3名以上でミニ同窓会を開かれたら同窓会へ通信をお願いします。  
 送ってくださった方に、粗品を進呈いたします。  
 ※最近、同窓会を名乗り、個人情報を引き出そうとする事態が発生しています。本同窓会は、個人に対してそのような行為は一切行なっていません。  
 不審な問い合わせがあった場合、至急ご連絡ください。  
 ※同窓会だより『ひまわり会 NEWS』の製作は就労継続支援B型事業所「なの花」さんに携わっていただいています。

連絡先  
同窓会メール [dousoukai@chiyoda.ac.jp](mailto:dousoukai@chiyoda.ac.jp)  
 ホームページ <http://www.chiyoda.ac.jp/dousoukai/>  
 〒586-8577 大阪府河内長野市楠町西 1090 番地  
 千代田学園本部気付 同窓会事務局 行  
 Tel 0721-69-6120 Fax 0721-52-5782



「いいね」  
してくださいね♪

ひまわり会も  
Facebook  
に参加して  
います。



## 短期大学の取り組み

### 短期大学の近況

副学長 島田 和秀

今、本校では豊かな緑に囲まれた立地条件を生かし、自然の中で遊ぶ子どもたちの行動や変化から学ぶ取り組みを進めています。そのために高野山大学とも協力して裏山を整備し「ちよたんの森」をつくったり、放置されていたテニスコートを冒険遊び場「ちよたんパーク」として子どもたちが創造的に遊ぶことのできる施設を整備したりしています。また、附属幼稚園との結びつきも強め、ちよたんの森を使った「森の幼稚園」の実践や、幼稚園のお泊り保育、夏祭りなどで短大生が積極的にかかわる機会も作り、園児と触れ合う実践的な学びを通じて保育者を目指す意識を強く持ってもらえるよう取り組んでいます。

ここ数年、コロナの影響下で様々な取り組みが制限される中、教職員と学生で創意工夫しながら短大での学びと生活を、水準を落とさず豊かなものへとするために努力してきました。制限が解除される中で短大でも行事やイベントが例年通り行えるようになりつつあります。この間、IT機



器の導入や整備などを行い、授業に工夫を凝らしてきたことは、今後の日常的な短大の学習を豊かにしていくために研究、実践を模索していきたいと考えます。

また、高校時代に行事や取り組みが様々な制限がかけられてきた現在の短大生に対し、新学長の提案で、焼きそば大会や、そうめん流し、焼き芋大会、餅つきなど楽しくできる行事を計画し実行しています。このような取り組みを通して充実した学生生活を楽しんでもらうとともに、短大での経験が保育者として現場へ出たときに実践的な力となるよう、進めたいと思います。



## 母校の先生

大浦 知加 先生 (音楽・表現担当)

ひまわり会の皆さま、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。現在、私は「総合表現(創作劇)、音楽表現、音楽療育実習」等を担当させていただいております。今年は、学生たちが学内の竹林から竹を切り出し、竹太鼓を作りました。そして、フィリピンの学生との国際交流活動では、1回生全員が和太鼓と竹太鼓を通じた交流を行い、代表の学生は100名程の人々の前で素晴らしい和太鼓演奏を披露しました。また、こどもたちの前で披露する劇も、クラス毎にオリジナル劇を創作し好評をいただいております。



学生たちは誰もが、さまざまな悩みを抱えながら生きていますが、壁にぶつかっても、それぞれの持ち味を發揮し、感情体験を通し成長していきます。中でも、社会の皆さまや先輩方にご指導いただける現場実習の後は、他者の気持ちに寄り添う心や自分を振り返る視点等、目覚ましい成長がみられます。

今後も、この素晴らしい環境豊かな大阪千代田短期大学の発展と、皆さまのよき人生をお祈り申し上げます。

## 出張 OPEN CAMPUS in 田辺市 with ひまわり会ふるさと同窓会

西出 純子 (アドミッション・オフィス 室長)

開学より73年、約1万人の先輩方が社会で活躍しておられ、敬意を表します。一方、本学は少子化の深刻な影響を受けて学生数が減少したため、幼児教育科のみとなりました。募集対象となる18歳人口は、開学間もない1967年度の249万人をピークに増減を繰り返し、2023年度には110万人にまで減少しております。それに伴い近年では、短期大学離れが進み閉校する短期大学が増えております。

このような状況下で、ひまわり会の皆様方にもご心配をおかけしておりましたところ、役員の方々から「短大を元気づけたい」、「短大が開催する紀南地区でのオープンキャンパスを田辺地域の卒業生に呼びかけます」と有難い声上がり“ふるさと同窓会”を、同会場(紀南文化会館)で同時開催していただくことになりました。



当日は、今春卒業し田辺市で幼稚園教諭となった鈴木先生と、大浦講師の息の合ったパフォーマンスで、地元の高校生、保護者様の笑顔が弾けました。

さらに、ひまわり会奨学金の紹介を行い、ひまわり会の役員様から在学当時の思い出、一人暮らしの経験談などを参加した高校生に語っていただきました。

高校生とのトークタイムには、松浦前学長、石井新学長、1回生の奈本さん(田辺工業)も加わっていただき、和やかな多世代交流になりました。

## 卒業生の今

あの頃にもどって...

数田 智子 (幼教16期生)

つつじが咲き乱れていた今年の4月29日、阪急うめだ本店12F「イルデジテリオ オルタッジョ」において、お世話になった渡邊 保博先生をお招きし、有志が集まり、食事会を開きました。

久しぶりに会った友!すぐに学生に戻ったような気持ちになり、会話が弾みました。皆さんそれぞれの分野で輝いておられ、「明日も頑張ろう」とパワーを頂けた楽しい一日になりました。次回開催を楽しみにしています!今後も皆様の益々のご活躍を願っております。



## ひまわり会総会が 昨年10月22日に開催されました

2023年度の役員は以下の通りです。

会長(幼教16期)松原 栄子	会計(幼教4期)寺坂佐恵子
副会長(幼教5期)仲村佐江子	会計(幼教14期)森 寿美
副会長(幼教16期)大仲 明美	会計(総ｺﾞ13期)辻井 景子
副会長(幼教36期)本田 和隆	会計監査(幼教5期)柴田 礼子
副会長(総ｺﾞ6期)西浦 良治	会計監査(総ｺﾞ3期)順西 央
書記(幼教4期)堤 和子	名誉会長(幼教1期)辻 恵美
書記(幼教14期)森 寿美	名誉顧問 吉田 博司
書記(幼教47期)林 咲希	

よろしくお祈りいたします。

